

主要経済指標等 (2014年)

- 人口.....397万人
- GN I 総額..... 50.33億ドル
- GN I 一人あたり..... 1,270ドル
- 経済成長率..... 6.4%
- 失業率 (2013年).....31.0%
- 対外債務残高 (2013年)..... 35.70億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) (2013年).....2.91億ドル
- D A C 分類..... 後発開発途上国
- 世界銀行分類..... iii / 低所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対モーリタニア援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2010年度	-	5.52	1.07(1.00)
2011年度	-	4.48	1.25(1.12)
2012年度	-	16.57	1.45(1.29)
2013年度	-	8.45	0.83(0.63)
2014年度	-	4.98	0.76
累計	110.84	515.57	66.52(63.21)

*脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合.....	42.8%(1993)	23.4%(2008)
●目標2: 初等教育における純就学率.....	47.3%(1994)	73.3%(2013)
●目標3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数).....	0.73人(1990)	1.05人(2013)
●目標4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり).....	117.8人(1990)	90.1人(2013)
●目標5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり).....	630人(1990)	320人(2013)
●目標6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値).....	-	-
●目標7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合.....	29.1%(1990)	57.9%(2015)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

主要ドナーの対モーリタニア経済協力実績 (2013年)

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

1位 フランス	40.51	2位 日本	23.60	3位 米国	21.51	4位 ドイツ	16.77	5位 スペイン	15.91
----------------	-------	--------------	-------	--------------	-------	---------------	-------	----------------	-------

出典) OECD/DAC

モーリタニアに対する我が国ODA概要

1. 概要

我が国のモーリタニアへの経済協力は、1977年、我が国と関係の深い漁業分野における無償資金協力で開始され、その後は教育、給水、保健、農業・食料安全保障分野で支援を実施してきている。1970年代末と90年代には円借款も供与されたが、モーリタニアは2002年に拡大HIPCイニシアティブの完了時点で到達し、国際的な枠組みの下で包括的な債務救済の適用を受けたため、我が国もモーリタニアの債務を免除した。2008年のクーデターを受け、新規二国間援助は一時停止されていたが、2009年に大統領選挙が平和裡かつ民主的に行われたことを踏まえ、同年援助の再開を決定し、これまで、社会インフラの整備、漁業分野の専門家派遣、食糧援助、自然災害対策、平和構築支援等を実施している。

2. 意義

モーリタニアは水産資源に恵まれ、我が国の食料の安定的な供給先の観点からも重要である。一方、同国は、慢性的な食糧不足に悩まされており、貧困削減の一環として食糧安全保障の確立が急務となっている。他方、同国は、金・鉄鉱石を始めとした豊富な鉱物・エネルギー資源を背景に高い経済成長を達成しているが、資源の国際市場価格等、外部要因に影響を受けやすい脆弱性を抱えている。

3. 基本方針

モーリタニアの持続的な社会経済開発に貢献するため、同国が有する資源の潜在可能性を活かした持続的成長への支援を行う。また、モーリタニア政府は、「貧困の削減」「テロとの戦い」「汚職の撲滅」を国家政策の三本柱とし、積極的な取組を進めている。特に貧困がテロの一因となっていることから、「貧困の削減」「テロとの戦い」の意味においても重要であり、「貧困の削減」に資する支援を行う。

4. 重点分野

(1) 水産業への包括的な支援: モーリタニアの主要産業であり、貴重な外貨収入源である水産業について、漁港等の基盤整備や水産資源の持続的利用、水産物の高付加価値化に向けた支援を行う。また、民間企業による技術移転も行われてきたことから、今後も官民が連携した支援を検討する。

(2) 都市部における貧困削減: 人口流入が著しい都市部において、保健施設や教育施設等の生活に直結する基礎的なインフラの整備や、基礎生活レベルを向上に寄与するための支援を行う。

*注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2010年~2013年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2014年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。()内はJICAが実施している技術協力の実績及び累計となっている。

モーリタニア

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表-1の詳細）

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2012年度	なし	16.57億円 ・ヌアディブ漁港拡張整備計画(11.17) ・食糧援助(1件) (4.90) ・草の根・人間の安全保障無償(5件) (0.45) ・ジャパンプラットフォームを通じた人道支援(1件) (0.05)	
2013年度	なし	8.45億円 ・平和構築、治安維持及び司法強化計画 (UNDP連携) (2.83) ・食糧援助(1件) (5.20) ・草の根・人間の安全保障無償(5件) (0.42)	
2014年度	なし	4.98億円 ・食糧援助(1件) (4.50) ・草の根・人間の安全保障無償(5件) (0.48)	
2014年度 までの累計	110.84億円	515.57億円	66.52億円(63.21億円) 研修員受入 796人 専門家派遣 48人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2012年度以降に開始され2014年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の【】内は、協力期間。

表-3 我が国の対モーリタニア援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2010年	-	12.53	2.03	14.56
2011年	-	9.03 (2.00)	1.11	10.14
2012年	-	11.64	1.74	13.38
2013年	-	22.41 (21.70)	1.19	23.60
2014年	-	21.67 (12.10)	0.79	22.46
累計	-11.69	539.84 (42.03)	63.05	591.24

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。()内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
 2. 有償資金協力及び無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、モーリタニア側の返済金額を差し引いた金額)。
 3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
 4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁及び地方自治体による技術協力を含む。

表-4 主要ドナーの対モーリタニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		うち日本	合計
2009年	スペイン	44.74	フランス	37.59	ドイツ	11.61	米国	10.16	日本	9.63	9.63	124.81
2010年	フランス	44.19	スペイン	34.69	日本	14.56	米国	11.38	ドイツ	9.93	14.56	119.86
2011年	フランス	64.24	スペイン	36.24	米国	11.62	日本	10.14	ドイツ	9.30	10.14	139.11
2012年	フランス	90.93	ドイツ	24.13	米国	22.04	日本	13.38	スペイン	9.06	13.38	174.78
2013年	フランス	40.51	日本	23.60	米国	21.51	ドイツ	16.77	スペイン	15.91	23.60	129.26

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対モーリタニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2009年	AFESD	94.60	IDA	38.37	EU Institutions	35.68	AfIDF	25.24	Isl.Dev Bank	22.39	27.07	243.35
2010年	AFESD	101.25	IDA	38.87	IMF-CTF	33.69	EU Institutions	25.27	Isl.Dev Bank	22.64	49.76	271.48
2011年	EU Institutions	93.28	AFESD	60.65	IMF-CTF	34.86	IDA	34.76	Isl.Dev Bank	25.22	29.31	278.08
2012年	EU Institutions	69.13	AFESD	50.74	IDA	40.75	IMF-CTF	33.82	Isl.Dev Bank	10.81	34.47	239.72
2013年	EU Institutions	79.90	AFESD	48.98	IMF-CTF	16.78	Isl.Dev Bank	13.76	IDA	13.25	29.52	202.19

出典) OECD/DAC

- 注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 2014年度実施協力準備調査案件

案件名	協力期間
国立ヌアクショット公衆衛生学校整備計画準備調査	15. 3~15. 9

出典) JICA

表-7 2014年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案件名
サイドナル・タール特別支援学校整備計画
ティヤレット保健センター整備計画
モーリタニア消防庁消防車両整備計画
タギラレット市タギラレット小学校整備計画
ヌアクショット魚市場整備計画

主なプロジェクト所在図 (2012年度—2014年度)

カーボヴェルデ、ガンビア、セネガル、マリ、モーリタニア

